

「第54回東海北陸社会教育研究大会福井大会」大会概要

開 催 要 項

1 趣 旨

「フェニックス」には、「不死鳥」という意味と「FX（＝福井のDX）」の意味をかけている。福井は敗戦と1948年の福井震災という困難を乗り越え、不死鳥のごとく復興を遂げてきた。さまざまな困難を抱える現代、マイナス面だけに目を向けるのではなく、既成観念にとらわれず、「できない」ではなく、自分たちには何が「できる」かを見つけていく。そして、誰一人取り残さない、多様性と包摂性のある持続可能な社会（SDGs）を目指していく。そのために、お互いが協働し、一人ひとりが知恵を出し合って、新たな社会教育の在り方を考えていく好機とする。

2 大会主題 「 フェニックス！社会教育 」

3 開催期日 令和5年10月12日（木）～13日（金）

4 会 場 12日（木）全体会 福井県生活学習館 多目的ホール
 住 所 〒918-8135 福井市下六条町14-1
 T E L 0 7 7 6 - 4 1 - 4 2 0 0
 13日（金）分科会 福井県生活学習館 各会場

<分科会会場等>

分科会	助言者	福井県生活学習館
① 家庭教育支援	仁愛大学 准教授 青井 夕貴 氏	映像ホール（3階）
② 青少年の健全育成 （含地域学校協働活動）	福井大学 教授 岸 俊行 氏	学習室 B1（B1階）
③ 地域文化の振興 （含多文化共生）	福井大学 准教授 東村 純子 氏	学習室 301・302（3階）
④ 地域の活性化	福井県立大学 准教授 高野 翔 氏	学習室 101・102（1階）
⑤ 社会教育委員の役割と課題	福井大学 准教授 田中 志敬 氏	多目的ホール（1階）

※会場は、分科会参加希望者数により変更します。

5 参 加 者 東海北陸各県市町村の社会教育委員及び社会教育関係者等

6 主 催 一般社団法人全国社会教育委員連合
 東海北陸社会教育委員協議会連合会
 福井県社会教育委員連絡協議会、福井県教育委員会

7 後 援 東海北陸六県市町村教育委員会連合会
 福井市教育委員会、福井県公民館連合会

8 日 程

【10月12日（木）第1日目】

12:00 ～ 12:30	受付
12:30 ～ 12:50	アトラクション チアドリームプロジェクト（JETSのOG「チアプロ」）
12:50 ～ 14:00	開会行事
（休 憩）	
14:15 ～ 15:45	トークセッション 若新雄純（株）NEWYOUTH 代表取締役／慶応義塾大学特任准教授
15:45 ～ 16:15	閉会行事
（移 動）	
16:15 ～ 17:00	分科会打合せ

【10月13日（金）第2日目】

9:00 ～ 9:20	受付
9:20 ～ 11:30	分科会
11:30 ～ 11:45	閉会

社会教育の若者へのアプローチ トークセッション

「Society5.0」など、現在私たちは将来の予測が困難な変化の激しい時代を生きています。そのような中、私たちが「持続可能な社会の創り手」となり、「ウェルビーイング」（「幸福」）を実現するため、社会教育が若者にどうアプローチしていくべきか。社会教育委員が現在抱える課題について、若新 雄純さんと福井県の社会教育委員・若手行政職員が語り合います。

【対談者】

わかしん ゆうじゆん
若新 雄純さん プロデューサー／（株）NEWYOUTH 代表取締役／慶応義塾大学特任准教授

大学在学中に就労困難者支援を行う㈱LITALICO（東証プライム上場）を共同創業し、2年弱取締役CEOを務める。その後大学院を経て独立し、人材・組織に関する企画支援などを行いながら歌舞伎町でバー経営するなど独自のスタイルを模索。現在は、企画プロデュース会社を運営しながら、大学ではコミュニケーションデザインの研究ラボを運営。人間関係・コミュニケーション、感情表現、キャリア・教育、まちづくり、ライフデザインなどに関する実験的プロジェクトや研究活動を企画・実施。近年は多数の報道・情報番組にコメンテーターとして出演し、東京と地元福井の2拠点で生活・活動中。慶応義塾大学大学院修了、修士（政策・メディア）。



てらい ゆうすけ
寺井 優介さん 福井県チャレンジ応援ディレクター

インターネット事業などの株式会社ホルグ（横浜市）主催の「地方公務員が本当にすごい！と思う地方公務員アワード2022」受賞。熱意ある若者の発掘やマッチングに取り組む。活動の根底にあるのはあふれんばかりの福井愛。「チャレンジ応援を福井の文化に」と日夜県内を駆け回る。

とくもと たつゆき
徳本 達之 福井県社会教育委員連絡協議会会長／県私立幼稚園・認定こども園協会会長／県私立学校連合会副会長

やまぎし とみこ
山岸 登美子 福井県社会教育委員連絡協議会副会長／県自然保護センター天文指導員／星のソムリエ®

アトラクション

チアドリームプロジェクト（JETSのOG「チアプロ」）

チアドリームプロジェクトは、福井県立福井商業高等学校チアダンス部「JETS（ジェット）」のOGらにより2020年4月発足。JETSは、2006年にチアダンス経験がゼロの顧問と10人弱の部員でスタート。創部わずか3年、フロリダ州オーランドで開催される全米チアダンス選手権大会優勝。その後、9回の全米優勝を達成。チアとは「応援」という意味。チアダンスで社会に元気と笑顔を届け、大きく社会貢献することを目指している。



※プロモーション映像など：[cheer dream - YouTube](#)

会場案内

福井県生活学習館



お車での来場

- ・JR福井駅から 約15分。
 - ・北陸自動車道福井ICから 約10分。
 - ・北陸自動車道鯖江ICから 約20分。
- ※国道8号線「産業会館」交差点から、東（県道）に入って、約500メートルです。

駐車場

駐車場は、生活学習館の専用駐車場が68台分と、隣接する「福井県産業会館」および「福井県中小企業産業大学校」との共用駐車場が350台分あり、いずれも無料でご利用いただけます。

鉄道・バスを利用

- JR福井駅東口から臨時シャトルバスを運行します。
- また、8時半より、JR福井駅東口バスのりばから福井県立図書館へ運行しているフレンドリーバス（無料）が運行しています。
 - ※「生活学習館先回り」にご乗車の場合、所要約13分。[生活学習館]で下車。
- その他、JR福井駅西口バスターミナル5番のりばから、京福バス 羽水高校線（60系統）（有料）が運行しています。※[県産業会館・厚生病院]で下車。生活学習館まで徒歩1分。